

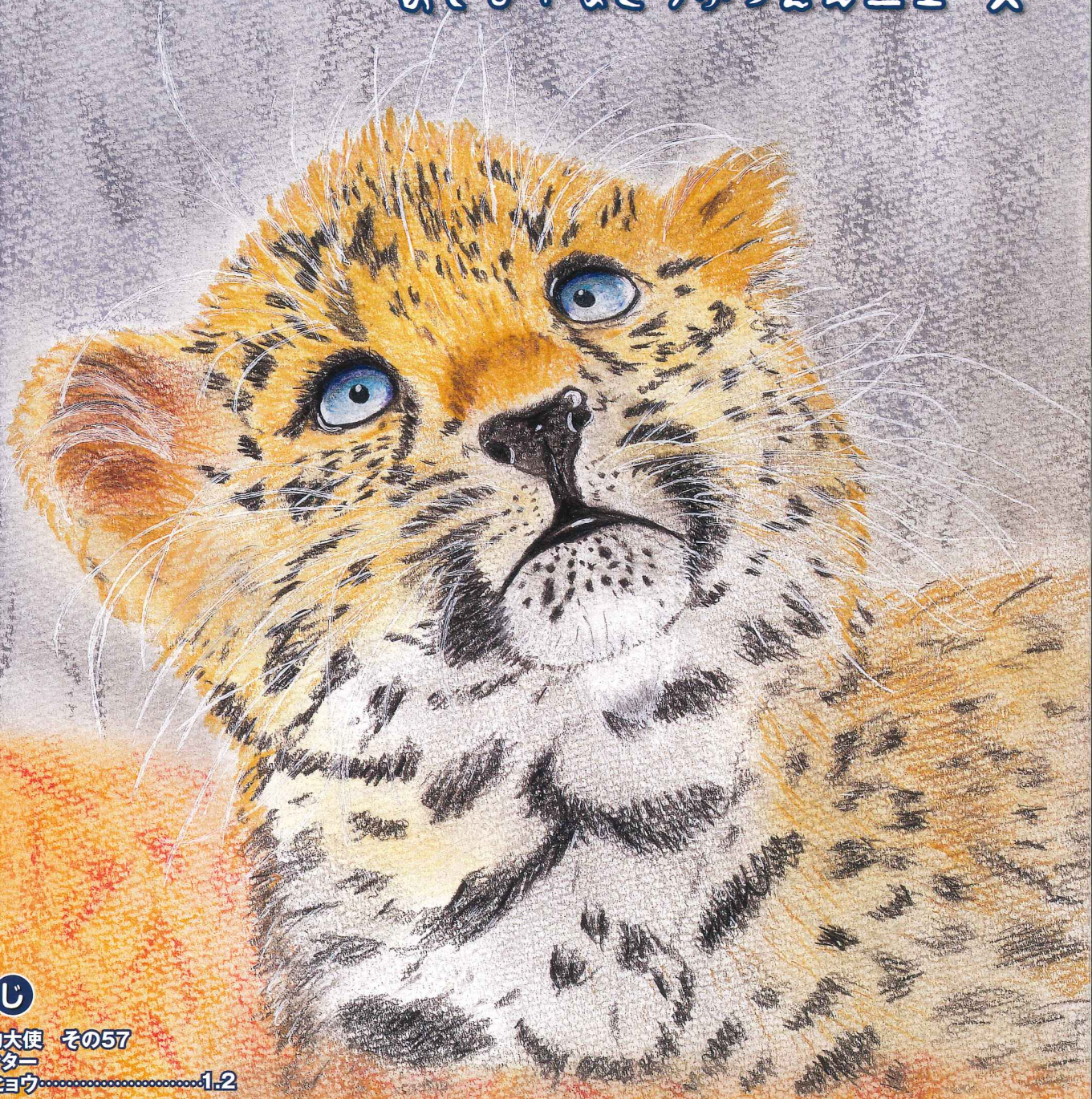


# NO. モユク・カムイ 96

●モユク・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。 January 2018

## ASAHIYAMAZO NEWS

あさひやまどうぶつえんニュース



### もくじ

ほくは動物大使 その57

美しきハンター

アムールヒョウ.....1.2

特集 繁殖賞からみる

「命をつなぐ50年」.....3.4

飼育研究レポート

高齢動物たちのお別れ.....5

動物園のお医者さんのカルテ

高病原性鳥インフルエンザと動物園での対策.....6

主なできごと

編集後記・飼育動物数.....7

アムールヒョウ

*Panthera pardus orientalis*

# アムールヒョウ

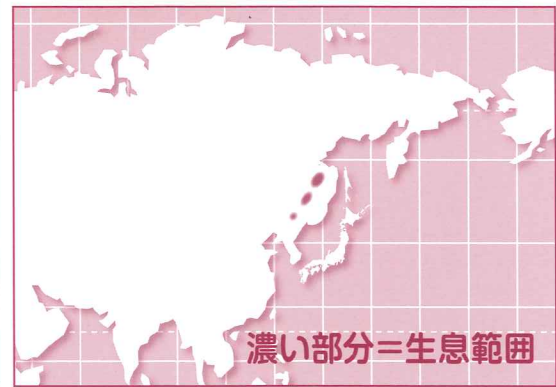
学名 *Panthera pardus orientalis*  
英名 Amur Leopard  
分類 食肉目(ネコ目)ネコ科

アムール・ウスリー地域や中国北部など、ヒョウの中では最も北に生息しています。

木登りが得意で、樹上で昼寝をしたり、捕まえた獲物を木の上に引き上げて食べたりします。基本的に単独行動で、夜に狩りをし、素早い動きで草食獣や鳥類を仕留めます。

絶滅が心配されており、ワシントン条約の附属書Iに記載されています。

## アムールヒョウの分布

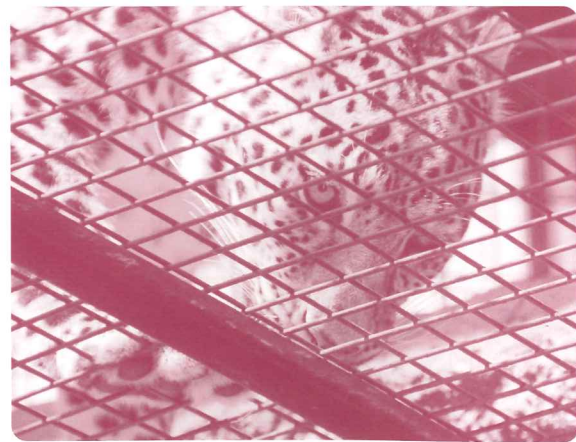


濃い部分=生息範囲

## アムールヒョウの放飼場はこんな工夫がされている!?

放飼場には、木を立てたり、立てかけたりすることで、木の上でのバランスの良さやジャンプ力など、アムールヒョウの能力を引き出す工夫がされています。

また、みなさんの頭の上でくつろぐ姿が見られる場所もあり、そこで休んでいるときは、肉球を観察することができます。



# ぼくは動物大使 その57

## 目

両目で見ることによって物を立体的に捉えることができ、獲物までの距離を正確につかむことができる。



## 歯

大きく長い犬歯(牙)が上下に2本ずつある。犬歯(牙)は獲物を捕らえるときに使われる。奥歯は鋭い歯(裂肉歯【れつにくし】)となっており、肉を裂いたり、かじりきるのに使う。

# 美しきハンター ～アムールヒョウ～

## 模様

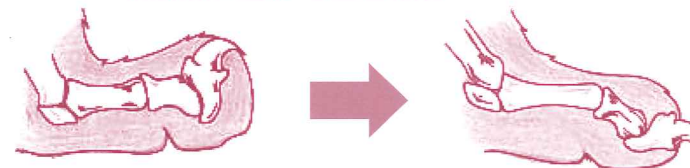
人間の目から見るとあざやかですが、動物の目で見るとほぼ白黒でしか見えないので、木の葉に紛れて体を目立たなくさせる役割がある。

## 尾

尾は太く、獲物を追ったり飛びついたりするときの体のバランスをとるのに役立つ。

## 爪

かぎ爪。自由に出し入れすることができ、狩りの時や木を登ったりするときなど必要に応じて爪を出すことができる。これはネコ科の特徴ですが、チーターは爪をしまうことができない。



引っ込める

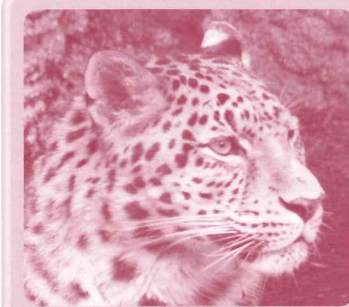
出す

## アムールヒョウの現状

アムールヒョウの生息数は極端に少なく、約50頭といわれ絶滅寸前の状況にあります。森林伐採や山火事による生息地の破壊や、美しい毛皮ゆえの密猟が原因といわれています。

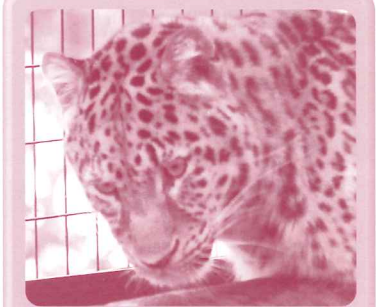
また、最近では、生息域での石油パイプライン建設による生息域の分断化も懸念されています。

## 旭山のアムールヒョウ



アテネ オス 13才  
2004.7.4生

広島市安佐動物公園から来園しました。先代のビッグのひ孫です。



キン オス 13才  
2004.7.4生

広島市安佐動物公園から来園しました。アテネとは双子の兄弟です。



ルナ メス 7才  
2012.5.20生

ロシアのノボシビルスク動物園から来園しました。



みらい(未来) メス 0才(左) とわ(永遠) オス 0才(右)  
2017.8.12と13生

活発な性格(おてんば?)。眉間の斑紋がつながってまゆげのように?見えます。  
メスよりやや引っ込み思案な性格。眉間の斑紋はつながっていません。

旭山動物園では21年ぶりの赤ちゃん

# 特集 繁殖賞 からみる「命をつなぐ50年」

## はじめに



動物園では日々たくさんの命と向き合っています。そんな中、国内で初めて繁殖に成功した時、日本動物園水族館協会より「繁殖賞」が与えられます。受賞には3つの条件があります。

- 1 日本動物園水族館協会に加盟していること
- 2 その種が国内初繁殖であること
- 3 生まれた命を6ヶ月間生かすこと

が条件です。

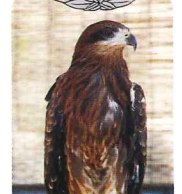
今回は開園50周年をむかえた旭山動物園の「繁殖賞」を振り返ってみましょう!

## 1970年代



ホッキョクグマ

旭山の繁殖賞は「ホッキョクグマ」から始まりました。父親に前足を咬まれ3本足になってしまった「コロ」でしたが16年間、強くたくましく生きてくれました。



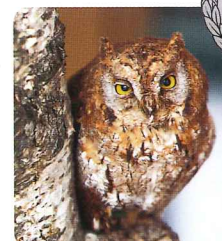
トビ(人工)



アムールヒョウ



コガモ



コノハズク

## 1990年代

当時、アムールヒョウは国内では旭山でしか飼育されていませんでした。この生まれた個体が神戸にもわれ、そこでペアになり繁殖。神戸で生まれた仔が広島へ行きそこでも繁殖成功。広島で生まれた2頭のオスの兄弟が旭山に戻ってきました。「アテネ」と「キン」です。そして今年の8月、父親は「キン」母親はロシアより導入した「ルナ」の間に2頭のこどもが生まれました。旭山では実に21年ぶりの繁殖となりました。旭山の血統が巡り巡って戻ってきて、また繁殖してくれるとは…何とも感慨深く、すばらしい「命のリレー」を見せてくれました。



## 1980年代



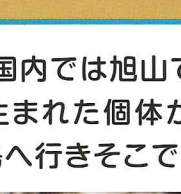
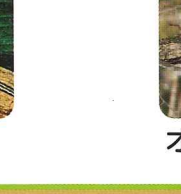
オオコノハズク



エソヤチネズミ



オオタカ(人工)



## 1990年代



ヒヨドリ



オマキトカゲ

オマキトカゲは「卵胎生」といって卵ではなく親と同じ姿(体ができあがった状態)で生まれてくる種です。ある時、担当者のAさんがたまたま員数を数えると「あら?何か1つ多いわ!」と気づき受賞に至ったという今も語り継がれる伝説の繁殖賞でした。



キレンジャク



スズメ(人工)



コノハズク(人工)



ヒドリガモ



アカゲラ

## 2000年代

90年代、2000年代は身近な野鳥が受賞しました。普通種とはいえ飼育下でいざ繁殖となるとそう簡単ではありません。日々の飼育・観察がとても重要となります。

またオオワシなどの希少猛禽類は、先輩たちが失敗と努力を積み重ね、世代が代わりやっとな繁殖までこぎつけた汗と涙の結晶です。そう思って動物たちを見ると何か違った見え方がしてきませんか?



オオワシ(人工)



キジバト(人工)

## おわりに

「飼育員にとっての喜びと悲しみは何ですか?」と聞かれると「喜びは担当動物が生まれること、悲しみは命が絶えること」と答えます。動物園の動物がその場所で繁殖してくれるということは、そこが安心して産める場所だと動物たちが認めてくれた証し、そんな環境を整えることができたという喜び、それがやりがい!だと思っています。

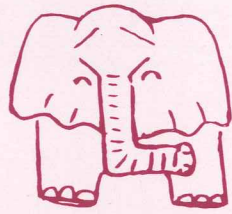
現在、かば館内テラスで「旭山動物園繁殖賞展」を行っています。旭山の繁殖の歴史を感じにぜひ遊びに来てください!



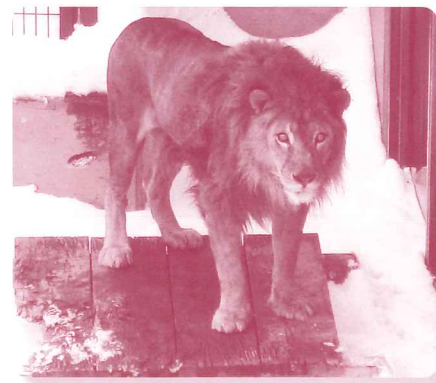


# 飼育研究レポート

## ～高齢動物たちのお別れ～



開園50周年を迎えた2017年の動物園ですが、高齢動物たちの死亡が続きました。どの動物たちも旭山で多くの方に愛され、魅力を伝えてくれた存在でした。彼らへの感謝を込めて、振り返ります。



### ライオン・ライラ(オス)

1996年4月14日徳山動物園生まれ、1997年4月24日来園  
2017年11月7日死亡

ペア相手のレイラとの間に多くの仔が育ったライラですが、晩年は屋外に出たがらない日も多くなってきていました。食欲は旺盛で、ライラのペースに合わせた飼育をしていましたが、11月1日に屋外で起立できなくなり、麻酔をして寝室に運びました。脊髄損傷を疑い、ステロイド剤等で治療を行いましたが、回復はしませんでした。解剖の結果、肉眼的な病変はなく老衰と診断されました。

### アムールトラ・のん(メス)

1996年4月1日 天王寺動物園生まれ、1996年6月28日来園  
2017年11月1日死亡

ペア相手のいっちゃんが2009年に死亡した後ののんびり生活していた「のん」も食欲にムラが出てきていました。ネコ科動物の宿命で腎臓も悪くなってきて心配していたところ、10月半ばから食欲の急激な低下と嘔吐が見られました。麻酔下で点滴治療などを数回行い、治療直後は少し食欲が回復するものの、すぐ悪化することを繰り返し、亡くなりました。解剖の結果、慢性腎不全(年齢によるもの)と診断されました。



### ヒョウ(黒変種・クロヒョウ)・バック(オス)

1998年1月14日とべ動物園生まれ、1998年9月24日来園  
2017年10月4日死亡

もうじゅう館完成に合わせて来園したバックは、木登り等の運動能力の高さを見せ、アムールヒョウとの比較展示でも活躍していました。2017年の春に顔面の腫れが表れ、検査の結果、良性的腫瘍と診断し、腫瘍の位置と年齢から手術は行わず経過を観察していました。腫瘍は徐々に大きくなり、歯根への影響から9月中旬には食欲が低下し、抜歯も行いました。鎮痛剤の投与などを行いましたが、回復せず亡くなりました。解剖の結果、歯根部の感染による敗血症と診断されました。

今回紹介した3頭以外にも、レッサーパンダのノノ(脊髄腫瘍手術後の衰弱死)やウンピョウのプータオ(肺腫瘍)などの高齢動物の死亡が重なりました。飼育・獣医技術の進歩により、飼育動物の長寿化が進む一方で、野生動物特有の体調不良隠蔽(敵に悟られないようにするため)による発見時の重病化や年齢による治療の困難さがあります。最後に寝たきりになった時には床ずれ防止のための体位交換なども簡単には行えず、床材の工夫などが必要になります。最後まで人に頼らない彼らのために何が出来るか、私たち飼育係や獣医はこれからも考えていかなければなりません。

# 動物園のお医者さんのカルテ



## 高病原性鳥インフルエンザと動物園での対策



ここ最近冬になると野鳥や養鶏場での高病原性鳥インフルエンザ発生のニュースを聞くことが多いと思います。昨年は動物園(秋田市と名古屋市)でも発生がありました。

### ●高病原性鳥インフルエンザってなに？

インフルエンザウイルスのうち大流行を引き起こすA型インフルエンザウイルスは人を含むほ乳類や鳥類に広く分布していて、そのうち鳥に感染性を持つものを鳥インフルエンザといいます。本来、このウイルスは水鳥の腸内で共存していて病原性も強くありません。しかし、家きん(家畜の鶏など)に感染した時に家きんの間で感染を繰り返し、鶏に対して症状も重く死亡率も高くなるウイルスが生まれました(それが発症したものを高病原性鳥インフルエンザといいます)。この高病原性となったウイルスが再び野鳥に感染し、渡りなどの移動途中で糞をしたり最後には死亡する事で、その地域の野鳥や家きんに高病原性鳥インフルエンザが発生し、各国で大きな被害を引き起こしています。

### ●日本の対策は？

予防対策が基本ですが、もし家きんで発生した場合は被害を最小限にするため、発生農場すべての家きんを殺処分する事が法律で定められています。かわいそうかもしれませんが、それが国内の養鶏場を守ることに繋がります。

### ●動物園ではどうしているの？

動物園には家きんとそれ以外の一般的に野鳥といわれる鳥が飼われています。発生すると、家きんは一般の農場と同じように殺処分されます。しかし、その他の野鳥は治療する事が許可されています。これは関係する法律の違いに由

来します。しかし、治療をする時には外部にウイルスを漏らさない対策が必要なため簡単ではありません。やはり予防が大事になります。

旭山の主な予防対策は、飼育鳥類の健康状態の監視強化、ウイルスを鳥の動物舎に持ち込まないため入室時の手指と長靴の消毒の徹底、感染リスク低減のための担当者以外の鳥類獣舎への立ち入り制限、園外からのウイルス持ち込みを防止するため来園者の足裏消毒等です。万一の際の対策マニュアルも作成しています。



入園口の消毒マット



動物舎の消毒槽



アルコールスプレー

冬に動物園に来られると、第2こども牧場では室内に入る際に再度足裏消毒と手指のアルコール消毒をお願いしています。これは鶏やアヒルを守るためなので、面倒くさいなと思うかもしれませんが必ず消毒を実施してから入室をお願いします。

(獣医師 池谷)

## 主なできごと

- 9月4日 ファンボルトペンギン(No2)死亡  
チゴハヤブサ(3羽)・オオセグロカモメ、円山動物園より来園
- 12日 エゾタヌキ、おびひろ動物園へ搬出
- 18日 旭山動物園開園50周年記念事業「自然をつなぐプロジェクト」活動報告会開催  
(共催:NPO法人旭山動物園くらぶ)
- 23日 第49回旭川市旭山動物園児童動物画コンクール表彰式
- 25日 飼育勉強会
- 10月4日 ヒョウ(黒変種)「パック」(オス・19才)死亡
- 12日 シンリンオオカミの「フミ」、富山市ファミリーパークへ搬出



- 21日 自然観察会「動物への餌付けを考える。水鳥たちの生活の場に行ってみよう」開催

- 10月22日 「旭山動物園開園50周年・記念植樹イベント」開催



- 27日 飼育勉強会
- 11月1日 アムールトラ「のん」(メス・21才)死亡
- 3日 夏期開園終了  
「わくわくゲーム大会」開催  
「旭川市民感謝デー」実施
- 7日 ライオンの「ライラ」(オス・21才)死亡
- 8日 JAL「旭山動物園開園50周年記念」特別塗装機就航
- 11日 冬期開園開始
- 12日 旭山動物園開園50周年記念イベント「GEN'S CAFE・50周年バージョン」開催
- 27日 アムールヒョウの双子、一般公開開始  
飼育勉強会

## 編集後記

開園51年目の新たな年が開けました。50周年記念行事は年度末の3月まで続きますが…50周年と言うことで記念誌、図録の発行、ポスター展など50年の歴史を振り返ることが多くありました。動物園に関わった多くの方の様々な思い、来園される方の様々な期待、その中で淡々と日々を過ごしてきた動物たち。命を預かることの重さ、責任を改めて考えさせられました。

旭山動物園が果たすべき役割も時代の移ろいと共に変貌しています。

皆様の共感を得る形で様々な期待に応え、地球の動物たちの未来のために存在する動物園を目指していこうとの決意を新たにするとりました。(坂東)



最新情報はここでチェック!!



公式HP

Facebook

Twitter

Instagram

## モユク・カムイ No.96 平成30年1月15日

- 発行所/旭川市旭山動物園  
〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
- 発行人/坂東 元 ●表紙絵:中田 真一
- 編集/丸 一喜・高橋 伸広・大内 章広・鈴木 悠太・中村 亮平・佐賀 真一・中田 真一
- 印刷/株須田製版:〒070-8045 旭川市忠和5条8丁目3-1 ☎0166-62-2266

## 飼育動物数

平成29年12月末現在

- 哺乳類 41種・275点
- 鳥類 58種・330点
- は虫類 5種・17点
- 
- 合計 104種・622点